

健診について

心電図

検査の目的	循環器系の病気の診断
使用機材及び備品	心電図計・AB切替スイッチ(コード)・ペーパー・マクラ 誘導コード(吸盤・四肢誘導)・防水シート・ベッド・包帯・ ウエットティッシュ・パット(エコパット)・ゴミ袋・ 延長コード・はさみ・ニツパ・水入れ・電池・シート
取扱いの注意	<ul style="list-style-type: none"> ・コード類も含めて、ケースごと運ぶ。 ・超精密機器なので振動や衝撃、落下に特に注意する。 ・ふとん等はケースごと、汚さないように運ぶ。 ・部屋の角、コンセントの近くに設置する。 ・アースはかならずとる。 ・携帯ベッドを使用する。(特別な理由がない限りテーブルは使用しない。 ただしベッドだけでは幅が狭い場合は、横にテーブルを並べて使用しても可) ・危険防止のため、ベッドの足が正しく固定されているか確認する。 ・四肢の金具部にはウエットティッシュを巻いて使用する。 ・人数により、2ベッド用意する。 ・スクリーンを立て、見えないよう注意する。(特に女性) ・バスタオル、シーツに汚れがないか確認し、汚れている場合は交換する。 ・六誘導・四肢誘導のセットをする。 ・『心電図』と『心電図をお待ちの方へ～』の看板を受診者が見やすい位置に掲示する。 (心電計を複数台使用する場合は『心電図①』などを使用する)
始業確認	・機器の設定を確認する。機材に入っている心電図設置表を参照。
検査の手順	<ul style="list-style-type: none"> ・空いているベッドヘカーテンを開けて呼び込む。 ・靴下を足首まで下げてもらい、上半身は胸が出るようにする。 女性は、ブラジャーをはずし、胸が出るようまくり上げてもらう。 ・力を抜いて楽な姿勢で仰向けになってもらう。 ・手足に四肢誘導、胸に六誘導を正しい位置につける。 ・スタートボタン(記録ボタン)を押す。
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントアウトされたチャート紙に受診番号・氏名を記入する。 ・心電図記録紙に名前等の個人情報と、血圧が記入されている事を確認して記録紙が上、チャート紙が下(どちらも上向き)になるようにホッチキスでとめる。 (心電図記録紙に血圧などが書いていない場合は受診票を見て転記する) ・解析結果をもとに正常又は異常の振り分けを行い、健診終了後に正常の封筒、異常の封筒にわかる。 (封筒の正常又は異常に丸印をつけ、実施日・事業所名・封筒に入るチャート紙の枚数・担当技師名をそれぞれ記入する) ・心電図記録紙に記入した人数と異常者用封筒内の枚数に間違いがないか必ず確認を行う。 ※右胸心の場合は四肢・六誘導とも逆につける。
チェック項目	<ul style="list-style-type: none"> ・解析結果異常、または異常波形の場合は心電図記録紙の間診欄(現病・既往)を受診者に聞いて必ず記入する。 ・解析結果正常でも不信な波形は再度撮る。また、異常の扱いとして異常の封筒に入れる。

受診者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンをしっかり設定し見えないようにする。 特に女性の場合徹底する。 ・女性には必ずバスタオルをかける。
混雑時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・イスに腰掛けて待ってもらおう。 ・胸が出しやすいようにシャツのボタンなどをはずし、足首が出るよう靴下をさげ、ずぼんの裾を2、3回折ってもらおう。 ・責任者の指示でベッド数を増やす。
その他留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・女性二人を検査をして、一人を検査中にもう一人が入り出す際は検査中の受診者が外から絶対に見えないように注意する。 ・電極の付け間違いなど、単純ミスが起こらないように注意する。 ・電極は肋骨などの位置を確認してから正確につけること。 ・混雑時は検査項目に心電図がない人が来る場合があるので必ずコースの確認をする。 ・健診終了後、正常結果の波形を全て見直し、解析の結果が間違っていないかを確認する。異常と疑われるものがあつたら、技師コメント欄にその内容を書き異常の封筒に入れる。 ・胸毛の濃い人に濃いといわないように注意する。 ・検査し直して正常になる場合があるので波形をよく見る。 ・セッティング時、机などを使用する場合、足の部分を完全に安定させるように注意する。 ・実施終了後、シート上にアルコールを噴霧しふき取る。 また防水シート、バスタオルが汚れている場合は、予備のものと交換し、汚れたものを当日品に入れて返却する。 ・腹囲測定を兼務する際は、プライバシーに配慮(特に女性)して行う。 ・学生を記録する場合は、解析を「児童もしくは小児」に変更し、健診終了後、必ず「成人」に戻す。
トラブル時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムが変わってしまった。 →心電図設置表に基づき直す。もしくは責任者へ連絡する。 ・チャート紙が出力されない →用紙がなくなっていないか、また正しくセットされているか確認。 ・エコーパットがない。 →ケラチンのクリームを使用して行う。 ・エラーになってしまう →金属を扱う工場等では腕に金属粉がついている場合測定できないためウェットティッシュで拭く、もしくは洗い落としてもらう。
故障時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・始業確認時、または検査の途中で 機器の故障等があつた場合は、直ちに責任者へ報告する
よくある質問	<p>Q: ストッキングははいたままでいいの？</p> <p>A: 薄手のものであれば検査可能ですが、水で濡れてしまいます。 ※厚手の場合は検査が出来ない可能性が高いので、脱いでもらう。</p> <p>Q: 腕時計はだいじょうぶ？</p> <p>A: だいじょうぶです。</p>